



北九大に全国の公立大学の学生が集結！

10月8日(土)～10日(月・祝)の3日間、「平成28年度全国公立大学学生大会 LINK topos」が北九州市立大学で行われました。

「LINK topos」(リンクトポス)とは、LINK=「つながる」、topos=「英知」を結集する場所という意味の造語で、学生の



視点を大学・地域に最大限に活用し、地域の課題解決と未来創造に貢献することを目指した公立大学の学生ネットワークの名称です。「公立大学だからこぞできる学生主体の

地域貢献」をテーマに、2013年10月に岩手県立大学で第1回が開催されてから、今回が4回目の開催となりました。

421Lab. からは、運営側と参加者合わせて11人の学生が参加しました。開催地である北九州市の魅力と共に



421Lab. で行われている活動を全国の公立大学の学生に発信しました。

3日目に全国の公立大学の学長を北九大に招いて行われたポスターセッションでは、参加した学生が421Lab. の説明と421Lab. のプロジェクトの1つである青空学プロジェクトの紹介を行いました。全国の学生・教職員の方々や学長と意見交換を行ったことで、学生たちは今後の活動への刺激を受けたよう



です。さらにその後ランチ交流会が行われ、学長と学生が会食をすることで、ポスターセッションよりさらに活発な意見交換を行うことができた様でした。(記事：清水)

編集後記

『Lab. Times 09』を手にとっていただきありがとうございます。内容はいかがだったでしょうか？今回取り上げたイベントはどちらも大きなもので、メンバーみんなで試行錯誤を繰り返しながら本号の制作を進めました。そんな『Lab. Times 09』なので、皆さんに少しでもmArsのTGCへかける想いや、LINK topos 当日の熱がお伝えできればと思います。次号もよろしくお願致します。



北九州市立大学 地域共生教育センター (421Lab.)
〒802-8577
北九州市小倉南区北方 4-2-1 (北方キャンパス 2号館1階)
Open / 10:00-18:00 (月～金)
[Tel] 093-964-4092 [Fax] 093-964-4088
[Mail] info421@kitakyu-u.ac.jp
[Web & Facebook & Twitter]

421Lab. 検索

《編集者：有野・佐藤・清水・三戸》



編集長：三戸 美公

《プロフィール》

地域創生学群 1年

今年度から運営スタッフに所属し、地域クリーンアッププロジェクトの一員としても活動。421Lab. ぎっでの猫好きで、ランキングをあげるとすると1位スコティッシュフォールド、2位ノルウェージャンフォレストキャット、3位はボンベイカベンガルか決められずにいる。



～2016年夏 mArs の挑戦～

国内最大級のファッションイベントである東京ガールズコレクションが手がける「TGC 北九州 2016」が、今年も10月9日(日)に北九州市で開催されました。実は今回のコレクションでは、ステージの一部を421Lab. のプロジェクトである mArs (マーズ) がプロデュースしました。mArs が作り上げたのは北九州市の PR ステージである『KITAKYUSHU DREAM COLLECTION STAGE』。そのコンセプトは「家族」です。子育て支援や子どもたちの夢を応援する北九州市をイメージしたステージで、全国各地に応募をかけ、オーディションで選ばれた子どもたちに、キッズモデルとして出演してもらいました。



Lab.times Special Edition
- mArs 特集号 -



この大きなプロジェクトに取り組んできた彼女たちの思いとは…。

本号では、mArsの2ヶ月に渡るプロデュースの道のりをご紹介します！！

～夢のランウェイに子どもたちを～ 忘れられない mArs の夏

mArs に「TGC 北九州 2016」参加の話が舞い込んできたのは 8 月のこと。mArs は、ファッションを通じた地域活動を行っており、普段は大学や小倉駅の周辺などで環境や四季をモチーフとしたファッションイベントなどを開催しています。今回の企画は、「学生さんと何かしたい」という TGC プロデューサー奥田真希さんと、地域活性化を図る北九州市役所、そしてこれまで自分たちでファッションに関わる活動をしてきた mArs が出会い、進み始めたものでした。

①キックオフミーティング 8/12(金)



初めてのミーティングは mArs メンバーの他に、北九州市役所、および TGC の主催・協賛会社の方々も参加して行われました。モデルの宮城舞さんもいらっしやって話し合いに華を添えました。奥田さんからは、TGC を北九州で開催する狙いや今後の方針が示されました。mArs のメンバーは聞きなれない経済用語に難しさも感じたようです。

TGC という、今までのショーとは桁違いの規模のイベントの運営に携われると聞いたときは、すごく驚いたし今後の活動に対して不安を感じました。

文学部 2年
矢野 茜さん



講義ごとに学ぶ事は多かったですが、特に、TGC が協賛によって成り立っていることは一番印象深く感じました。

法学部 1年
山口 璃華さん

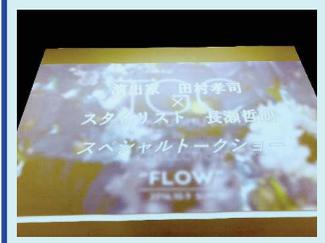


TGC 北九州 2016 のプロデュースに加わることになった mArs は、TGC について理解を深めるためレクチャーを受けました。講義は 10 回以上行われ、TGC の成り立ちやステージ演出の方法などを教わりました。講義で学んだことは、トークショーの広報やオーディションの告知に活かされました。

②日々の講義



③トークショー 8/25(木)



TGC 北九州 2016 に向けて、一般の方向けのトークショーが行われました。ゲストの田村孝司さん、長瀬哲朗さんのお二人。田村さんは、TGC の総演出を手がけ、長瀬さんは映画「ヘルタースケルター」やタレントのローラさんが出演する CM を手がけた方で、貴重なお話が聞けました。ただ、当日の参加者は目標半数の 50 人。キッズモデル募集への新たな課題となりました。

広報で電話を掛けるとき、学生だから受け入れてもらえない気がしてつらかったです。当日は、ステージの裏話が聞けて新鮮でした。

文学部 2年
椎木 智子さん



それまでステージ企画のイメージは漠然としていましたが、実際のステージを見ることで、照明や演出の雰囲気がつかめました。

文学部 2年
東 綾美さん



9 月に入り、さいたまスーパーアリーナで開催された TOKYO GIRLS COLLECTION 2016 AUTUMN / WINTER の視察に行きました。実際に行われている TGC を体感し、北九州市で行うステージ企画のイメージを具体化する経験になりました。

④視察 9/4(日)



⑤プレゼン 9/5(月)



本番まで約 1 か月を迎えたこの日は、北九州市役所でプレゼンを行いました。TGC 北九州 2016 が北九州の活性化に繋がることと、mArs の企画が家族の良さを表現し、夢を応援するものであることを伝えるために準備を重ねてきました。その結果、市役所の意向に沿ったものであるということで高評価を頂きました。

子育て支援に力を入れているという北九州市の強みや、埼玉で行われた TGC のイメージを元にプレゼンを作ったので、具体的な提案をすることができました。

文学部 2年
太田 朱音さん



どれだけ多くの子どもたちにオーディションに参加してもらおうかが勝負でした。告知もすっかりでき、トークショーの時よりも成長できたと思います。

文学部 2年
鳥山 遙さん



トークショーと視察の経験を踏まえ臨んだオーディション。3 万枚という膨大な数のチラシを用意し、慣れない郵送作業をしました。その結果、全国から 420 通という予想を大きく上回る応募があり、その中の 9 人の子供たちがキッズモデルに選ばれました。

⑥オーディション 9/24(土)



…そして ⑦TGC 北九州 2016 開催



TGC 北九州 2016 当日、mArs のメンバーはスタッフとしてメイクやキッズモデルのサポートに徹しました。そしていよいよステージ本番の時。憧れの人気モデルに続き、緊張しつつも晴れやかな笑顔でステージへ踏み出していく子どもたちを mArs のメンバーは見送りました。ステージ終了後、リーダーの鳥山さんはこれまでの活動について「挙げだしたらきりがなくらい多くの方のご協力があった成功することができたステージです。関係者の方への感謝でいっぱい 2 ヶ月間でした。」と振り返りました。学生が北九州市の活性化に取り組むことも、TGC という大きなイベントで一つのステージを作り上げることも簡単ではありません。それでも成功に向け、一つひとつ努力を重ねた mArs の姿は、多くの人の心を打ったことでしょう。そして、彼女たちにとっても この一夏の挑戦は一生の思い出となったのではないのでしょうか。(mArs 特集記事：有野、佐藤、三戸)